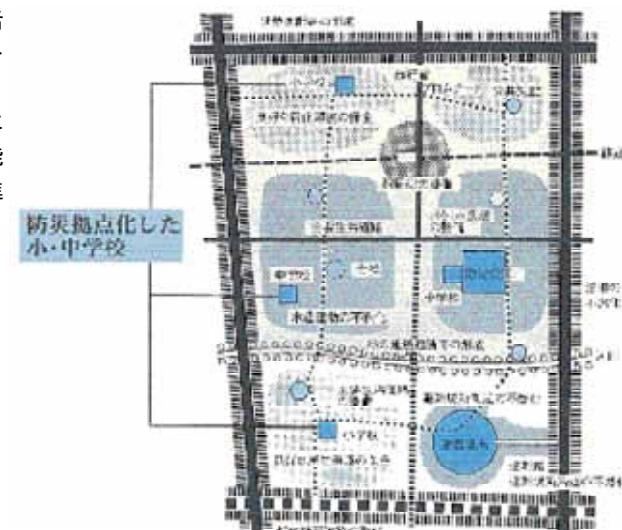


4-1. 小中学校の防災拠点化（杉並区まちづくり基本方針より）

震災発生直後の避難拠点、救出・救援・医療活動や初期消火活動等の拠点として小・中学校を位置づけ、耐震補強などその機能を充実する。避難に際しての学校敷地及び施設への出入りに配慮した施設等の改善や情報の受信・発信機能の整備など、役割に即した施設の改善整備を進める。

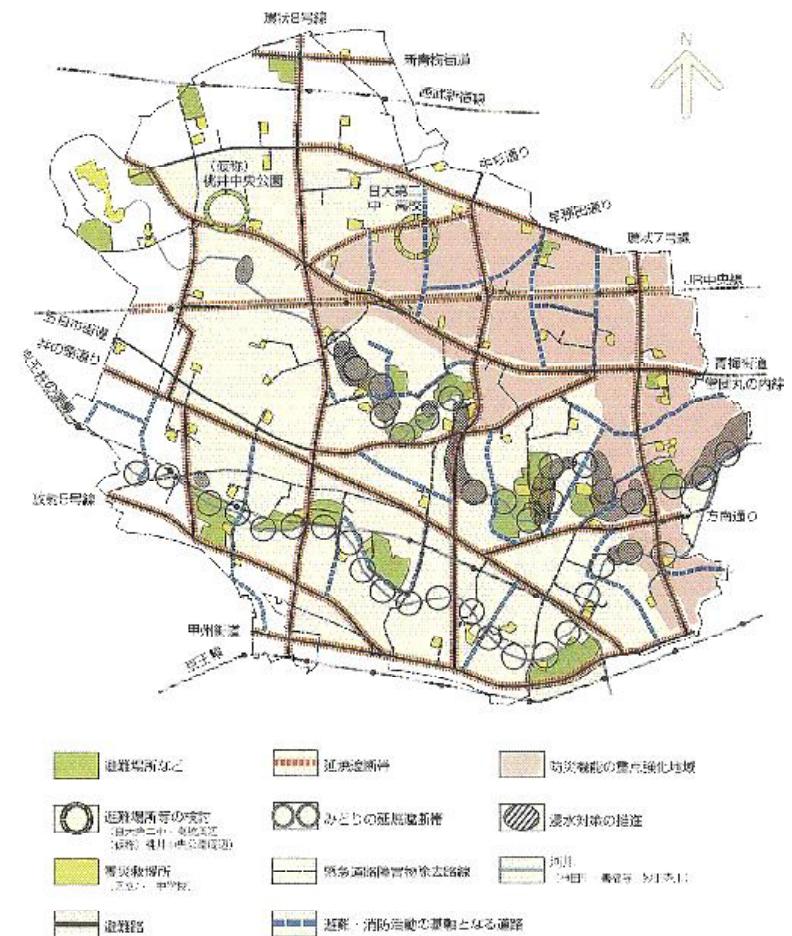


4-2. 洪水ハザードマップ（杉並区洪水ハザードマップより）



○大雨によって河川などが増水し洪水になった場合の浸水予想区域と浸水深さ、避難場所等を示した洪水ハザードマップからも学区域においては、一部を除き水害による影響の少ない区域であることが分かる。

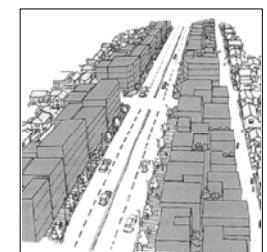
4-3. 防災まちづくり方針図（杉並区まちづくり基本方針より）



○統合小学校の学区の大半は、延焼遮断帯に囲まれた防災機能の重点強化地域となっている。

○統合小学校は、震災救援所として防災ネットワークの中心としての役割を担っており、統合小学校脇の道路は、避難・消防活動の基軸として計画されている。通学帯(歩道)の確保とともに、オープンスペースの検討をする必要がある。

○災害時における地域防災拠点としての学校の関わり方を検討する必要がある。



延焼遮断帯のイメージ
(杉並区まちづくり基本方針より)